



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第30回例会(2月20日)
平成27年2月27日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳アパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
例 会 日 毎週全曜日12時30分～

会 長 長澤 茂
幹 事 槇山 桂
会 報 古山 明廣
クラブ事務局 TEL(653)5682
FAX(653)5622

Light Up Rotary. "ロータリーに輝きを".....ゲイリー C. K. ホアン



盛岡 RC 創立 76 周年記念例会 卓話

「盛岡 RC 昔話
忘れられないロータリアンを中心に」

(株)村源 取締役会長

村井 研一郎君(代読 平野佳則君)

本来であれば、村井研一郎会員からの卓話ですが、研一郎会員のお母様の実家にご不幸があり、本日火葬と葬儀のため、この時間に来られなくなりました。研一郎会員の指名により、私平野が原稿を代読させていただきます。

長澤会長さんからご指名頂き、在籍 49 年の会員として当クラブでの思い出をお伝えする最後のチャンスと思って今日を迎えた次第です。古いお話ですが、私は昭和 14 年 8 月 8 日、この公会堂でのロータリークラブ家族会に小学 3 年生の少年でしたが参加しており、正に 76 年前からこのクラブと関わりがあったということです。その時、近くの席にいらした女学校のお姉さんは大人の洋食のお皿で、私はお子様ランチでした。変な事が忘れないものです。

先ず、盛岡ロータリークラブの発足ですが、東京 RC、仙台 RC がスポンサークラブでチャーターメンバー 15 名、日本一小さいクラブで、近い将来、最低必要人数 20 名を確保するという前提条件で RI の承認を受け、クラブ番号 4978 でした。東京クラブには、当地ご出身の鹿島精一氏がおられ、何かとご支援頂いたそうあります。

初代会長は、板井賛次郎氏 (1911-) でした。昭和 5 年 8 月 (1930) 勸業銀行が岩手農工銀行を合併するにおよんで、勸業銀行盛岡支店長として来盛、昭和 8 年 (1933) 岩手殖産銀行の第二代頭取として再び来盛し、昭和 22 年(1947)、りゅうこう隼石 隆 孝頭取にバトンタッチするまでの 14 年間、同行の拡大発展に寄与した。

創立後一年半、日米関係の悪化、アメリカルーツのロータリークラブは敵性視され、解散せざるを得ず、その後、木曜会と改称して、この公会堂談話室で例会を継続し、食糧配給制の折りで各自外食券持参の昼食会だったそうです。昭和 25 年再度国際 RC に復帰、その時の会長は小泉多三郎氏 (盛岡市長) でした。

次に私のロータリー会員歴に触れさせていただきます。昭和 41 年、岩銀のあびこかなめ安彦 要 副頭取のスポンサーで入会いたしました。当時は、三番目の若さでした。会長は石動隆一先生、医師会副会長で、ニックネームは、和声ライシャワー、素敵な紳士でした。実はその年度の地区ガバナーに私の父親源一が就任、当時岩手、宮城、青森の 3 県が 252 地区で、クラブ数こそ少ないとは言え、広い地区の公式訪問では苦勞しておったようです。また、RI からのガバナー宛の文書も英文が多く、翻訳の手伝いとか雑用

係でもありました。

その後、昭和45年(1970-71)の25代会長、近藤一正^{かずまさ}先生の強引なご指名で、入会4年目の若輩でクラブ幹事を務めました。若輩なるが故、強く辞退申し上げたのですが、「あんたが引き受けなければ俺もやめる」と言われ、私にとっては、大切なお得意先で、中学・高校の大先輩という事情もあり、お受けした次第でした。この時期、肴町時代の川徳デパートが例会会場でしたが、増築工事中で、その間の例会場をセントラルホテルに変更しました。その年の11月13日、川徳新館6階の会場に落ち着くまでの5~6ヶ月間、ホテルの都合で会場変更を余儀なくされた時、会場探しと会員への連絡で手を焼いたことが忘れられません。

近藤会長は近藤^{たかし}駿先生のお父上ですが、誠に闊達な方で、強引な中にもユーモラスなスピーチは会員間で定評がある方でした。クラブの事に限らず、本当にいろいろとご指導いただきました。

次にロータリアンとして国際交流の初体験ですが、昭和54年(1979-80)、シカゴで国際ロー

タリー75周年大会があり、当クラブの元会員であった黒沢和雄夫妻がこの大会に日本の琴の演奏の依頼を受け、招請されました。それに事情があって、私ども夫婦で同行いたしました。大会の閉会式の時、黒沢夫妻の演奏は世界各地からのロータリアンの大観衆を圧倒しました。大スクリーンに、大寫しの演奏は、身震いするほどの感激でした。

それから昭和60年-61年(1985-86)当クラブ会長を務めさせていただきました。幹事は田中紀雄君でしたが、残念ながら他界されました。斬新なセンスの持ち主で、会運営を盛り上げてくれました。私は出席率があまり良い会員ではなかったのですがこの年度は皆出席でした。

さて、平成11年-12年(1999-2000)の当地区ガバナーは、我がクラブの南部利昭さんでした。ちょうど21世紀入りの正にepoch makingな時の地区大会を当クラブ主催で企画開催致しました。盛岡出身の国際人、新渡戸稲造博士の世界的名著「武士道：The soul of Japan」が発行されて丁度100年目にあたる時期でした。我がクラブは、「ロータリー道



盛岡ロータリークラブ創立76周年記念例会 平成27年2月20日 於／岩手県公会堂

The soul of Rotary」を新しい世紀に追求すべく南部ガバナーの卓越したリーダーシップで、大会キャッチフレーズと採択し、見事大成功裡に地区大会を終える事ができました。この大会に南部ガバナーのご指名で地区大会委員長を務めさせていただいたことも忘れられない思い出であります。

この盛岡クラブには忘れられない諸先輩のエピソードが沢山あるのですが、私にとっては、スポンサーであった安彦要先輩（1959-60 会長）や岩手殖産銀行の第三代頭取 雫石隆孝先輩（1954-55 会長）、佐藤武夫さん徳清の当主のお顔が忘れられません。

安彦 要 氏

岩手県内における初期のロータリークラブの設立に尽力されました。岩手銀行支店網をロータリーの拠点に準備されたかと思うほど、各クラブは設立後も例会場としてなど、お世話になっています。

温顔で、しかも酒席におけるそのお顔は、如何にも楽しく、美味しそうに一層なごまれる。老若地位を問わずだれからも親しまれ、そのゆえにあれほど多くの県内クラブの設立の世話役をされたのでしょうか。大蔵省時代は税務署長もされたとか。昭和7年には岩手銀行常務、昭和25年副頭取、昭和52年82歳で逝去されました。

雫石 隆孝 氏

第13代の会長をされた雫石隆孝先輩も強烈でした。ある宴席でしたが、新入り会員が献杯に上がった際、「君は働き盛りでひたすら会社の発展を考える時だ。盛岡RCを自分の肥やしにする事を考えればよい。ルールに縛られたり、クラブ活動に足を引っ張られては駄目だよ。」豪放磊落な先輩は、会長やらパストガバナーの臨席の中で、その新入り会員を諭されたのでした。また、海外旅行へ行かれた時、外国人に自分の名前を覚えて貰う苦心をされたお話も愉快なものでした。雫石とは彼らには発音出来ないようだと言

がつき、考えて英語圏では、My name is drop stone、独語圏では、Ich bin Tropfen Stein. (トロッペン シュタイン) これで解決した。これも忘れられないエピソードでした。

佐藤 武夫 氏

「働くこと」、「正食すること」を健康法とし、趣味は読書といわれるだけに、漢方の本に至るまでその範囲は広く、したがって博学。特技はいろいろなものの修理や野菜づくりだった。終戦後進駐軍の幹部将校とも対等につき合い、アメリカからのゲストのホームステイなど初期の国際奉仕は一手に引き受けられた。語録からその教えを拾えば、「出席については、満つれば欠くのたとえあり…無理すればいつまでも続くものでない」。多くの出会いに出るべし、そして知り合いをふやせ…それがロータリーだ。

このスピーチを締めるにあたって盛岡ロータリー創立50周年記念誌、Big Friday (回想の盛岡RC) 1989年発行、に触れたいと思います。この記念誌の前置きの言葉は当クラブのいつの創立例会にもぴったりの内容で、これを読んで76周年記念例会の締めとしたいと思います。

Big Friday (平成元年 (1989))

金曜日。昼の12時30分、例会場にロータリーの鐘が鳴る。一瞬の緊張。ロータリー・ソングを歌い、心がなごむ。親しい顔、新しい顔。昼食をともにしながら、奉仕と友情の精神を語り合う1時間。

雨の日も風の日も、晴れの日も雪の日も、こうして変わることなく、盛岡ロータリークラブの例会は続いてきた。1939年(昭和14)2月23日、太平洋戦争開戦前夜に、設立会員15名で発足した当クラブは、戦争のため解散を余儀なくされ、木曜会と名称を変更したときもあった。しかし、例会は一度として途絶えることがなかった。

特別な趣向を凝らして来たわけではない。い

や、むしろ当クラブの例会は、変化の激しい今日にあっては珍しいくらい頑固に、先人たちが築いた伝統を継承して来た。こうして50年、ロータリーの火を心から心へ、手から手へ手渡して来た。例会に、親睦活動に、また奉仕活動に、それぞれの思い出を刻み、こんにち、会員数110名を超える大きな広がりをもつクラブへ成長した。

まず、この伝統をつくり、発展の原動力となった先人たちに乾杯したい。そして、創立100周年の2039年へ向けて、さらに新しい輝きに

ちた、次の歩みを歩き始めたきょうの日のために乾杯したい。

この記念すべき二つの乾杯とともに、我々は、『Big Friday 回想の盛岡ロータリークラブ50年』を贈りたい。クラブ誕生のルーツを探り、クラブの歩みを確かめることは、過去を懐かしむためのものではなく、生き生きとした未来を構想するための第一歩なのだ、という深い思いをこめて。

ご清聴有難うございました。

例 会 報 告

第30回例会 平成27年2月20日(金)

- 於 岩手県公会堂
12時30分 開会点鐘
- ・司 会 長澤 茂会長
 - ・ソング それでこそロータリー
 - ・会長報告 長澤 茂会長
 - ・入会祝 福井誠司・伴 亨・諏訪泰幸君。
 - ・誕生祝 熊谷昭三・江口博朗・吉原伸和君。
 - ・結婚祝 藤田治彦君。
 - ・幹事報告 樋山 桂幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡中央R.C.=2月24日(火)は、賀寿例会のため18:30~「一の浜」。
- 盛岡西北R.C.=2月25日(水)は、創立25周年記念例会のため18:30~時間変更。

【ニコニコBOX】

- ◆熊谷昭三君…昨日運転免許証を更

新しました。当クラブは創立76年ですが、私の選手経歴は66年6ヶ月、更新した免許は中型二種(8t)で大型自動二輪も付いてます。感謝の報告は真っ先に近藤駿先生ですね!!

- ◆村井研一郎君…創立記念例会卓話代読に際して。
- ◆平野佳則君…立記念例会にて代読という大役を拝命した事に感謝してニコニコします。
- ◆小川 惇君…4年後は盛岡ロータリークラブ創立80周年です。創立記念例会をそのリハーサルとして心がけ、皆さんで盛り上げましょう。
- ◆長澤 茂君…創立記念例会で久しぶりに公会堂多賀のハヤシライスを食べることができたのでニコニコします。
- ◆荻野忠良君…6人目の孫が生まれましたのでニコニコします。
- ◆藤村文昭君…先日のRCデーでは、家内も映画を鑑賞させていただきました。用事があり途中退席しましたが、その後の活動プレゼンテーションで樋山幹事がすばらしい発表をされたとの事、盛岡西北RCの方からお聞きしました。さすが盛岡ロータリーだと言われま

した。移籍したらと言ったら悩んでいました。途中退席のおわびと樋山幹事のすばらしい発表にニコニコします。

- ◆樋山 桂君…先週日曜に開催されたロータリーデーに於いて当クラブの奉仕活動の一つである桜の植樹活動についてクラブを代表してプレゼンテーションをさせて頂きました。当クラブと他クラブの多くの方から「良いプレゼンテーションだったよ」とのお褒めの言葉を頂き素直にうれしかった事とご参加できなかった会員の皆様へのプレゼンテーションのご報告も合わせてニコニコします。
- ◆福井誠司君…創立記念日は私の記念日でもあります。あれから2年経ちました。皆様に感謝してニコニコ致します。
- ◆田中堯史君…本日はお日柄も良くて出席率も良くてありがとうございます。

- メークアップ
地区=千葉・竹中・田中君。盛岡西R.C.=江口・平井・金子・吉原君。盛岡南R.C.=勝・吉江君。

出席報告 □ 会員数 /73 名 □ 出席数 /57 名 □ 出席率 /82.60% □ 前々回修正出席率 /81.16%

プログラムの
お知らせ

・2月27日(金) ゲスト卓話 安藤 厚様 (元岩手県教育委員会委員長)
「3000年紀に生きる
～シンボルは「矢」から「星座」へ～」

- 本号編集担当 / 海野 尚
- 次号編集担当 / 佐藤 重昭